

KUMAMOTO

熊本県地域医療支援機構

— 地域で医師を育てる —



オールくまもとで
医師を育て
地域を支える



©2010熊本県くまモン

熊本県 / 熊本大学病院

熊本県

医師求む!

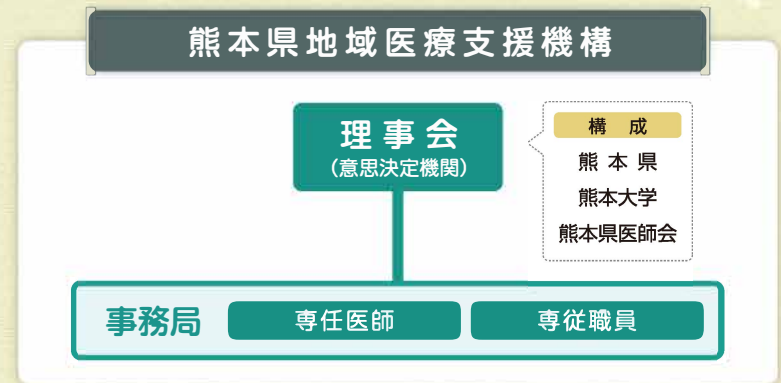
熊本

熊本が
あなたを
待っている!

お問い合わせ：熊本県 医療政策課
☎096(333)2204

詳しくは
熊本県 ドクターバンク

熊本県地域医療支援機構の運営体制



熊本県医療政策課

〒862-8570 熊本県中央区水前寺6丁目18番1号
 [企画・医師確保班]
 TEL:096-333-2204 | FAX:096-385-1754
 e-mail: iryoseisaku@pref.kumamoto.lg.jp
 [くまもと地域医療ステーション]
 ホームページ: <http://ryou.pref.kumamoto.jp/>



熊本県地域医療支援機構 事務局

熊本大学病院 地域医療支援センター内
 〒860-8556 熊本県熊本県中央区本荘1-1-1
 TEL:096-373-5627 | FAX:096-373-5796
 e-mail: chiki-iryo@kumamoto-u.ac.jp
 ホームページ: <http://www.chiki-iryo-kumamoto.org>



ご挨拶

医療は私たちの命や健康を守り、日々の暮らしや経済活動など社会を根本から支える重要な基盤です。新型コロナウイルス感染症の脅威が続く中、最前線で活躍される医療従事者の皆様の強い責任感と献身的な御努力に深く感謝し、心から敬意を表します。

さて、本県の人口当たり医師数は全国10位を誇る一方で、その約6割が熊本市に集中しており、「地域偏在」が大きな課題です。この背景には、地域での勤務環境やキャリア形成に対する不安、専門医志向の高まりなどがあるとされています。

このため、平成25年に熊本大学と協力して設置した「熊本県地域医療支援機構」において、地域の医療機関への医師派遣や、地域に勤務しながらキャリアアップできるシステムづくりなどを行った結果、地域医療を担う医師の育成が確実に進んでいます。さらに、県では平成21年度以降、約90人の医学部生に修学資金を貸与し、令和元年度からは第1期生がへき地での勤務を始め、その後も着実に増加しています。

今後とも、地域医療支援機構を中心に、医療機関、医師会、市町村と連携し、地域の実情を踏まえた医師派遣、地域医療を担う医師のキャリア形成支援や勤務環境改善の取組みなどを通じ、地域の医療提供体制を県全体で支える仕組みを強化して参ります。

全ての県民が医療を等しく享受できる環境を守り、「誰一人取り残さないまともづくり」に全力で取り組んで参りますので、皆様の御支援・御協力をお願いします。



熊本県知事
蒲島 郁夫
Kabashima Ikuo

熊本県は全国的にみると人口10万人当たりの医師数が約280名と全国平均より多いものの、熊本市に414名、熊本市以外は190名余となっており、熊本市に極端に医師の偏在が顕著であります。地域医療支援機構は、人口減少と高齢化が進展する中、県と一体となって、地域の住民一人一人が安心して生活できるように、限られた医療資源の中にあっても患者の状態に応じた質の高い医療を効率的に提供できる体制構築に努め、地域医療機関に必要な診療科とその医師数を確保し、医師の地域偏在を解消する取り組みを進めて参りました。

地域の医師不足解消には、地域医療を担う優れた医療人の育成が必要不可欠であり、当機構としては、地域医療・総合診療実践学寄附講座と連携して、地域医療に従事する医師のキャリア形成支援や地域医療を志す学生への事前教育の充実、それを支える地域医療実践教育拠点の整備などに取り組んでおります。また、地域の医療提供体制確保に向けた支援、女性医師の就業継続や復職支援など、熊本県医療勤務環境改善支援センターなどの関係機関と連携して、医師の地域偏在解消に向けて様々な事業に取り組んでいます。

昨年来の新型コロナウイルス感染症の蔓延は、医療供給体制、入院受け入れ態勢に大きな影響を与え、医療供給体制の逼迫をもたらし、地域における医療機関の役割分担の重要性などの諸問題を改めて認識する機会となりました。今回の経験を踏まえて、今後、起こりうる様々な課題に機敏に対策を講じる体制整備をする必要があると考えています。特にこれまでも増して、医師の地域偏在を解消する取り組みを加速させる必要があると受け止めております。地域医療支援機構としては、関係機関の皆様との連携を更に強化して本県地域医療の発展に寄与する所存です。今後とも本機構の事業に関する皆様方の更なる御協力と御理解を賜りますようお願い申し上げます。



熊本県地域医療支援機構
理事長
熊本大学病院長
馬場 秀夫
Baba Hideo

熊本県内における医師の不足や偏在といった問題の解決をめざし、県は熊本県地域医療支援機構を設置し、熊本大学医学部附属病院(当時)が積極的にこの問題に取り組むため、同院内に地域医療支援センターが設置されました。

地域の医師不足は、熊本県に限らず日本全国で大きな問題となっていますが、その解決は容易ではありません。単に医師を地域の病院に派遣することに限らず、医師の教育や育成について、地域、行政、さらには大学病院をはじめとした各病院が、「オールくまもと」として一体となり取り組む必要があると考えています。

高度な専門職である医師の育成には、長い時間がかかります。医師は仕事をしつつ学び、職業人としてのキャリアを重ねて成長していきます。この過程が円滑に進むことで、医師不足や偏在の問題の解決へつながって行くよう、私たちは様々な取り組みを行い、努力していく所存です。皆様のご指導とご支援を、よろしくお願ひ申し上げます。



熊本大学病院 総合診療科 教授
地域医療支援センター長
松井 邦彦
Matsui Kunihiko

地域医療の現状について

熊本県の地域医療に関するデータ

熊本県における医師の状況

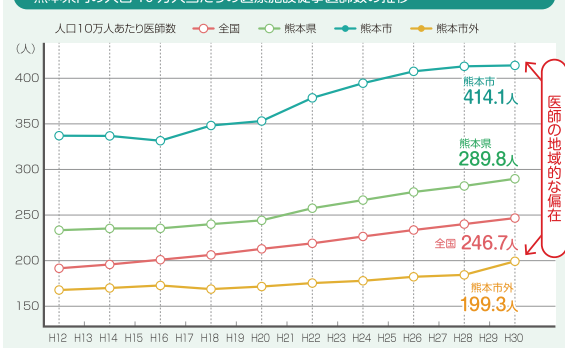
熊本県の「人口10万人当たりの医師数」は、289.8人であり、全国平均と比べて、やや恵まれた環境にあります。

しかし、熊本市と熊本市以外の地域を比較してみると、熊本市で414.1人であるのに対し、熊本市以外の地域では199.3人となっており、熊本市内に集中しています。

本県においては、熊本市内への医師の集中、地域的な偏在が課題と言えます。



熊本県内の人口10万人当たりの医療施設従事医師数の推移



自治体病院の常勤医師数はH30で307人

医師の地域的な偏在の要因

医師の地域的な偏在の要因としては、以下のようなことが考えられます。

このような課題を解決するためには、地域の医療機関に勤務していても、計画的に資格取得ができるような医師のキャリア支援体制の整備や、地域と都市部の医療機関を循環して勤務するシステムづくりが必要です。

(地域偏在の主要要因)

- 平成16年度から導入された新臨床研修制度の影響により、それまで大学が担ってきた地域への医師供給機能が低下
- 専門医資格取得が遅れる、最新医療技術が習得できないなど、地域で勤務することに対する医師の不安

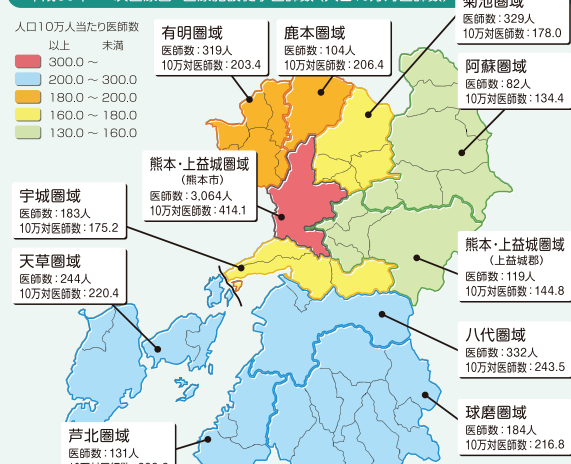
医療圏ごとの医師の状況

医療圏ごとの「人口10万人当たりの医師数」をみると、全国平均(246.7人)を上回っている圏域は、熊本医療圏(414.1人)と芦北医療圏(289.2人)の2圏域のみとなっています。

その他の圏域では、有明医療圏、鹿本医療圏、八代医療圏、天草医療圏、球磨医療圏は200.0人台、宇城医療圏、菊池医療圏は170.0人台、上益城医療圏は140.0人台、阿蘇医療圏は130.0人台と、全て全国平均を下回っています。

なお、最も医師数の多い熊本医療圏と、最も医師数の少ない阿蘇医療圏(134.4人)の格差は、約3倍となっています。

平成30年：二次医療圏・医療施設従事医師数(人口10万対医師数)



<参考>10万対医師数 全国：246.7人 熊本県：289.8人 熊本市外：199.3人

参照データ：厚生労働省「平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査」に基づき熊本県医療政策課作成

熊本県地域医療支援機構における主な取組み

取組み

1 医師修学資金貸与医師をはじめとする地域医療に従事する医師のキャリア形成の支援

「最新の医療技術が習得できない」「専門医資格の取得に必要な症例数が確保できない」といった医師の不安を解消するため、指導医の養成、地域の医療機関で連携した研修プログラムの策定、一人ひとりのキャリアビジョンに応じた助言を行うなど、地域で勤務する医師を支援していきます。



令和元年度地域医療セミナー「制度とキャリア」



知事面談
医師修学資金貸与と学生 令和2年度卒業生

取組み

2 地域における医師不足の状況の把握と分析

県内の医療機関に対する実態調査などを通じて、圏域毎の医師数、年齢分布、診療科ごとの偏りなどを把握、分析し、各地域の状況に応じた対策を検討していきます。



地域医療の現況調査を実施

取組み

3 地域と都市部の医療機関を循環して勤務できるシステムづくり

地域の医療機関と都市部の医療機関が連携して、医師が地域と都市部を循環して勤務するシステムづくりを進めます。



地域医療実践教育河浦拠点

熊本大学病院
地域医療・総合診療実践学寄附講座
河浦教育拠点

取組み

4 女性医師の就業継続及び復職支援に関すること

熊本県女性医師キャリア支援センターを中心に、女性医師の就業支援のための勤務環境に関する調査、復職支援、研修会などの開催、情報発信などを行います。



ホームページ：熊本県女性医師キャリア支援センター

チラシ：
マタニティ白衣の貸し出し

取組み

5 医師・医学生等からの相談対応 医師に関する求人・求職等の情報の発信

総合相談窓口を設置し、地域医療に関心や興味のある県内外の医師、女性医師、医学生からの様々な相談対応に応じます。また、ホームページ等で県内の医療機関の求人、求職などの情報を発信していきます。



ホームページ：キャリア形成に関する相談

熊本県医師
キャリアサポートブック

取組み

6 県内医療関係機関等との協力関係の構築

熊本大学、熊本県、基幹型臨床研修病院、地域の医療機関、医師会、市町村などで構成する「熊本県地域医療対策協議会」を中心に、「オールくまもと」で地域医療を守る連携体制を構築しています。



担当者連絡会議
(毎月開催)

熊本県地域医療支援機構講演会

熊本県医師修学資金貸与制度について

熊本県では、県内の地域医療を担う医師を確保するため、医師が不足している地域の病院等に、将来、医師として勤務しようとする医学生に体制、修学資金を貸与しています。
大学卒業後医師としての一定期間、知事が指定する地域の病院等(34医療機関)で勤務した場合には、修学資金の返還が全額免除されます。

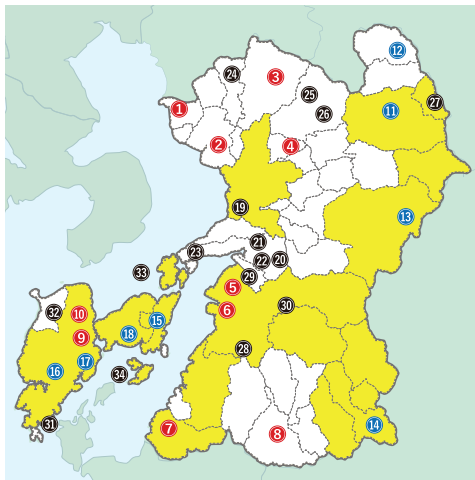
貸与の種類等 (地域枠)

詳細は熊本県ホームページにてご確認ください。

		貸与期間	貸与決定を受けた月(入学時)から大学を卒業する月まで
		貸与人数 (R4年度)	8人(予定)
対象者	熊本大学医学部医学科の地域枠入学者 ※対象 ①熊本県内の高校出身者 ②熊本県外の高校出身者(出願時において保護者が3年以上継続して熊本県内に在住(住民登録)している者に限る。) ※選抜は熊本大学が実施	返還免除に必要な指定病院等での勤務期間(義務年限)	貸与期間の1.5倍に相当する期間 <例> 貸与期間:6年間の場合 →義務年限:9年間
貸与額	①入学料相当額:282,000円 ②授業料相当額:535,800円(年額) ③生活費相当額:75,000円(月額) ※6年間の貸与総額:8,896,800円	返還免除の要件	①大学卒業後、2年以内に医師の免許を取得すること。 ②医師免許取得後、直ちに条例で定める病院(県内の基幹型臨床研修病院)で臨床研修に従事すること。 ③臨床研修修了後、直ちに知事が指定する病院等に勤務すること。 ④返還免除に必要な指定病院等での勤務期間を満たすこと。等

知事が指定する指定病院等

知事が指定する病院等は次の 34 医療機関 です。



知事指定 34医療機関

第1グループ: 赤色 ①~⑩
第2グループ: 青色 ⑪~⑳
第3グループ: 黒色 ㉑~㉔

● = へき地を有する市町村

【第1グループ】

有明: ①荒尾市民病院、②くまもと県北病院
鹿本: ③山鹿市民医療センター 菊池: ④熊本再春医療センター 八代: ⑤熊本労災病院、⑥熊本総合病院 芦北: ⑦国保水俣市立総合医療センター 球磨: ⑧人吉医療センター 天草: ⑨天草地域医療センター、⑩天草中央総合病院

【第2グループ】

阿蘇: ⑪阿蘇医療センター、⑫小国公立病院
上益城: ⑬さよう病院 球磨: ⑭公立多良木病院
天草: ⑮上天草総合病院、⑯河浦病院、⑰新和病院、⑱栖本病院

【第3グループ】

熊本: ⑲こころの医療センター 宇城: ⑳熊本南病院、㉑こども総合療育センター、㉒宇城市民病院、㉓済生会みずみ病院 有明: ㉔和水町立病院
菊池: ㉕菊池都市医師会立病院、㉖菊池病院
阿蘇: ㉗産山村診療所 八代: ㉘八代市医師会立病院、㉙八代北部地域医療センター、㉚椎原診療所 天草: ㉛牛深市民病院、㉜苓北医師会病院、㉝湯島へき地診療所、㉞御所浦診療所

熊本県女性医師キャリア支援センターについて

お留守番医師制度

無理なく復職したい方へ

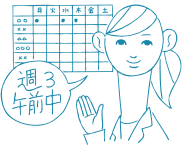
週1回半日から復職したい方へ「お留守番医師制度」を設けています。かかりつけ医が訪問診療に行かれる間の外来業務(お留守番医師)を担っていただく制度です。この制度でメディッククラブを利用される場合は体験時のみ保育料は無料です。



短時間勤務制度

勤務時間で困っている方

やりがいのある仕事を続けたい、せつかく獲得した技術を保ちたい、ただけ育児や介護でフルタイム勤務は難しいという方に、短時間勤務を応援してくれる病院各臨床科の情報を提供しています。また、各病院へのお問い合わせなどを代行します。お気軽にご相談ください。



メンター制度

一人で悩んでいる方

キャリアについて、ワークライフバランスについて、先輩に悩みを聞いてもらい、一緒にキャリアやライフの目標設定を考えてみる取り組みです。
直属の上司・同僚には相談しにくい事でも、臨床科を超えた普段は関わりのない先輩医師に相談してみてもいいか?がどうか?今お持ちの悩みや疑問など、なんでも相談してください。



セミナー情報

情報を知りたい方

当センターではキャリア支援や男女共同参画に関する様々なテーマで定期的にセミナーを行っています。また、新しい医学知識を得るための講演会やセミナー情報もご紹介しています。熊本県内で働く女性医師であればどなたでも、無料託児を利用できますので、是非ご利用ください。



マタニティ白衣・マタニティパンツ

妊娠中の医師の方

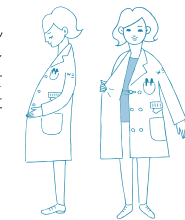
熊本県女性医師キャリア支援センターでは、妊娠中の医師にマタニティ白衣とマタニティパンツを貸し出しています。マタニティパンツのサイズについてはお問い合わせください。

サイズ	着丈	バスト	肩幅	袖丈
S	90	112	38	51
M	95	116	39	51

※胸もと、腰もとのアジャスターで調整ができます。

※利用にあたって

- 貸し出しの対象は、熊本県内に住んでいる妊娠中の女性医師です。
- サイズはSとMの2種類があり、どちらかを1人につき2着を貸し出します。
- 貸出期間は、白衣を貸与された日から出産後の2週間以内です。
- ただし、産前体験を取得した場合は、体験開始後の2週間以内となります。



育児支援

育児で困っている方

熊本県内の院内保育を有する(主に公的病院もしくは100床以上を有する)病院をご紹介します。院内保育がない場合は熊本医師会館内保育所「メディッククラブ」のご利用もご検討ください。一部の復職支援制度では無料保育も可能です。



メディッククラブについて

熊本県医師会では子育て中の女性医師の皆さんを支援するために、安心してお子様を預けられる一時預かり所「メディッククラブ」を開設しています。



相談窓口

「もう一度臨床へ支援事業」をはじめました。

週1回の外来のお手伝いからの復職や、短時間勤務を始めるお手伝いをいたします。そのほか育児や介護などについてもご相談ください。ご連絡をお待ちしております。



専任医師:後藤 理英子 復職支援コーディネーター:高塚 貴子

熊本県女性医師キャリア支援センター
Kumamoto career support center for women doctors

TEL 096-373-5795
http://kumamoto-joseiishi.jp

月~金 8:30~17:00